

第 203 回 史跡散策の会

飛鳥竹内街道から天皇陵三カ所を巡る

開催日：令和 7 年 4 月 9 日（水）

行程：近鉄上ノ太子駅集合～飛鳥戸(あすかべ)神社～観音塚(かんのんづか)古墳～飛鳥ワイナリー～孝徳天皇大坂磯長陵(おおさかのしながのみささぎ)～推古天皇磯長山田陵(しながのやまだのみささぎ)～用明天皇河内磯長原陵(こうちのしながのはらのみささぎ)～近鉄用明天皇陵前バス停留所＝近鉄喜志駅＝近鉄阿部野橋駅

参加者：(敬称略) 加納 岩井 松村 木村 高 野口 水野 横山 葛野 以上 9 名

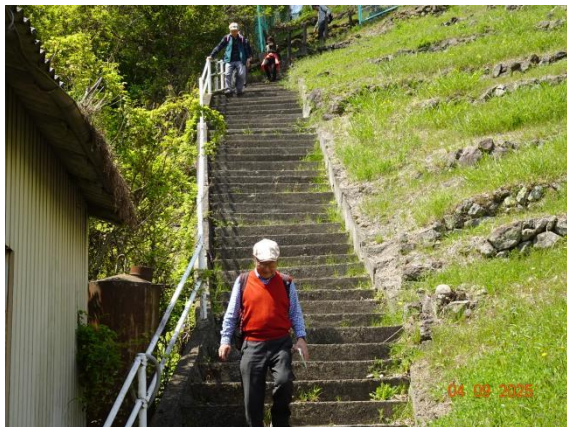
天候：晴れ

今回は孝徳天皇・推古天皇・用明天皇の御陵を巡る散策の会となりました。

午前 11 時前、近鉄上ノ太子駅に全員が集合しました。飛鳥ワインをスルーして、飛鳥戸神社で本日行程の安全を祈願しました。高さんから、この神社は百済からの移住者の方々が、その先祖を祭った神社であるとの説明があり、天皇系図から本日巡る天皇陵三カ所の説明がありました。徳がつく天皇名は、非運だった在世を慰める意味があるとのことでした。



次に一行は、高台にある観音塚(かんのんづか)古墳を目指していきました。急な階段を登りきったところに、開放された石室があり、中に入ることもできました。何人かは急な階段を自重され、登り口で待っていたのは言うまでもありません。



来た道に戻り、飛鳥ワインにて早速本日のお土産を購入です。高級ワインをゲットするメンバーもいらっしゃいました。



既にお昼を過ぎていたこともあり、タイミング良くあった小さな公園にて、ランチタイムとなりました。各自が用意したおにぎりや弁当・サンドウィッチを頬張り、野口さんからのお菓子も配られ、まずは腹ごしえ完了です。

一行は孝徳天皇陵を目指しましたが、旧道と新道が絡み合って道が分かりにくかったです。高リーダー・加納さん集団・水野支部長集団の3グループに分かれながらも、なんとか全員が「這う這うの体」にて孝徳天皇陵に到着いたしました。



ここで高さんから、1代～25代天皇の説明がありました。天皇学に疎い私が覚えているのは、仁徳天皇の系統が途切れ、応神天皇の系統に戻り、その系統にあるのが本日三人の天皇であるとか。一行はしばらく休憩し、小野妹子墓を目指しましたが、いつの間にか推古天皇の方墳を目掛けて、畑の中を歩いて行きました。正面からでなく、陵裏からの最短ルートで到着です。

そして近くの運送業の方に道を聞きながら、三つ目の用明天皇陵に到着しました。これにて野口さんは東京地区の天皇陵2か所を除いて、125天皇陵を制覇し、松村さんは大阪府内天皇陵を制覇されたとの事ことでした。おめでとうございます！



一行はバスが通る県道を目指して、歩いて行きました。メンバーの願いが叶い、叡福寺前のバス停にて、時間待つことなく、カードを出すのにあせりながらバスに乗り込みました。そして無事に近鉄喜志駅に到着しました。

打上げは天王寺ミオプラザ館4Fの居酒屋にて、美味しいビールとアジフライ等々を頬張ることで終了いたしました。お疲れ様でした。



ナビゲーター：高さん 写真提供：岩井さん・葛野 レポーター：葛野